

**学習到達目標**

学校の教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養います。

4年生では、特に、自主性・協力し助け合う態度を育てます。

**道徳教育とは**

人間が本来もっている「よりよく生きたい」という願いや「よりよい生き方を求め実践する人間」の育成を目指し、その基盤となる道徳性を養う教育活動です。

小学校では、人間としてよりよく生きるために共通の心構えや行動の仕方を様々な体験や学習を通して学びます。基本的な生活習慣や社会生活上のルール、基本的なモラルの指導を徹底したり、ボランティア活動や自然体験活動を生かした学習を通して、道徳の育成を図る教育活動です。

**道徳性とは**

人間としての本来的な在り方やよりよい生き方を目指してなされる道徳的行為を可能にする人格的特性であり、人格の基盤をなすものです。

人間が人間として共によりよく生きていく上で最も大切にしなければならないものです。

**学習内容**

4年生では、18の項目があります。この18項目は大きく4つのグループに分けられます。副読本・「心のノート」・視聴覚教材などを使用して、これらの項目を学習します。

**1. 自分自身に関すること**

- (1) 自分でできることは自分でやり、節度のある生活をする。
- (2) よく考えて行動し、過ちは素直に改める。
- (3) 自分がやるうと決めたことは、粘り強くやり遂げる。
- (4) 正しいと思うことは、勇気をもって行う。
- (5) 正直に、明るい心で元気よく生活する。

**2. 他の人とかかわりに関すること**

- (1) 礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接する。
- (2) 相手のことを思いやり、親切にする。
- (3) 友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。
- (4) 生活を支えている人々や高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接する。

**3. 自然や崇高なものとかかわりに関すること**

- (1) 自然のすばらしさや不思議さに感動し、自然や動植物を大切にする。
- (2) 生命の尊さを知り、生命あるものを大切にする。
- (3) 美しいものや気高いものに感動する心をもつ。

#### 4. 集団や社会とのかかわりに関すること

- (1) 約束や社会のきまりを守り、公德心をもつ。
- (2) 働くことの大切さを知り、進んで働く。
- (3) 父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合っ  
て楽しい家庭をつくる。
- (4) 先生を敬愛し、学校の人々を敬愛し、家族みんなで  
協力し合っ  
て楽しい学級をつくる。
- (5) 郷土の文化や伝統を大切に、郷土を愛する心をも  
つ。
- (6) 我が国の文化と伝統に親しみ、国を愛する心をもつ  
とともに、外国の人々や文化に関心をもつ。

#### 評価の観点・方法

##### 評価の観点

道徳教育における評価は、教師が児童の人間的な成長を見守り、よりよく生きようとする努力を評価し勇気づける働きをもつものです。数値などによる評価は行いません。

##### 評価の方法

道徳性の評価は、広い視野に立って、多面的に長い目で多くの人々の協力を得て、動的・発展的に行っています。

#### お知らせ・お願い

道徳の副読本・「心のノート」は原則として学級保管とします。「心のノート」は内容に応じて家庭に持ち帰りますので、目を通され記入事項がありましたらご協力ください。